



編集委員が地域の皆さんにインタビュー!

今回は議会体験に参加した新島小学校の児童に、議会について感想を聞いてみました。

Q. 議会だよりの中で面白かったものは?

特にスピーカーズコーナーでくわしく書かれているのがびっくりした。
いろいろな活動をして環境を良くしていること。

Q. 議会を体験して、わかったことは?

議員さんたちは新島のためにいろいろなことをしていることがわかった。

議場にて、新島小学校児童のみなさんと



議員さんは自分(児童)たちに期待していることがわかって、自分も調べるなどして新島のためにできることをしたい。

動画で見ている時と比べて、やってみた方がとても緊張した。

議員の人は静かな空気なのか、しっかり意見を言っていること。

前もって話し合いの準備がされていた。

Q. 議員になってみたいと思った?

いろいろな資料を見せてもらって、お金の桁に驚いたし、とても大変そうだけれど、興味が出てきて、少しなってみたいと思った。
はい(自分は法律に関わることに興味がある)
思った。新島のために。

Q. あなたはどんな議員になると思う?

新島の未来を考え、自然や観光客のことを考える。

島の人が安心して暮らせるよう、島で何かを楽しめたりできるよう

に努力できる議員になりたい。
大きなことから解決していく議員になると思う。

Q. 議会でどんな質問・議論・提案をしてみたい?

村にスポーツ広場を作る。

こどもが遊べる場所を増やす。

公園の遊具を増やす。

静かで安心してほとんど何でもできる施設が欲しい。

住宅を増やす。

イベントをたくさん考えていきたい。

みんなが安心して住めるように、危険な場所や使いづらいところを直す提案。

人口減少や災害などでの被害についてどうしていくか。

住民の願いを聞いて、それに近づけられる提案をしてみたい。

新島と式根島の間に橋をかける。式根の高校生が天候の悪い日に帰れるようになるなど。

新島村議会では、議会活動を広げる一貫として、これからも議会体験や学校への議会説明を行いたいと思っております。ぜひ事務局または身近な議員までお声がけください。

編集後記

「見やすくなった」、「興味を持って読ませて貰っている」等のご意見をいただく機会が増えました。社交辞令半分と捉えつつも、若い正副委員長始め、編集委員の工夫・努力の成果と考えています。また、僚島の知人から、「新島の議会だよりを参考にしたい」との問い合わせもありました。

内容の充実もさる事ながら、まずは住民の皆様から、まずは住民の皆様から、まずは新島村の現状を知ら、考えていただくことが「議会だより」の主目的です。停滞、閉塞感が漂う世の中ですが、全住民共通認識のもとに知恵を出し合えば、新島村の将来展望が開けると思っています。(前田 泉)

広報編集委員会メンバー
委員長：小久保利佳
副委員長：木村諭史
委員：前田 泉
前田 寿夫
青沼 弘